

現在、国内のホテル業界は激動の時代に直面しています。今年開催される東京オリンピックを契機として激増する新築ホテルの新規供給、それと相対する人材不足と、人財不足に伴う人件費や客室清掃コストの上昇、インバウンド観光客増加に伴うホテル売上のボラティリティの上昇、また、インターネット・AI・ロボット・キャッシュレスなどのキーワードに代表される新しいテクノロジーの導入など。こうした激変するホテル業界環境を踏まえ、人工知能に関する専門家と、レベニューマネジメントの専門家のお二人をお招きし、人工知能の可能性と限界や、東京オリンピック開催後のホテル客室供給過剰が心配される国内ホテル市場において、あるべきレベニューマネジメント手法について探ります。

今回の外部講演は、3つのセッションから構成されます。最初に、人工知能の専門家である田中様からの人工知能についての基調講演から始まり、次に、レベニューマネジメントの専門家である小林様も交え、田中様と小林様で、ホテル産業における人口知能についての導入の具現性についてパネルディスカッションを行って頂きます。最後に、小林様より、市況が懸念される東京オリンピック開催後の環境化での、あるべきレベニューマネジメント手法についてご講演頂きます。



Shannon lab株式会社
代表取締役 田中 潤 氏

<プロフィール>

現役数学者であり、AIエンジニア

アメリカの大学で数学の実数解析の一分野である測度論や経路積分を研究。

2011年、カリフォルニア大学リバーサイド校博士課程に在学中「SHANNON LAB」を立ち上げるために帰国。

人工知能の対話エンジン、音声認識エンジンを開発。その際、必ずPythonを愛用。

昨今の人工知能熱の高まりを受け、数学者・コンサルタント双方の視点からアドバイスを行うことで企業のAI導入を手がけている。

最新開発はノイズ環境でも音声認識可能な“アコースティックレンズマイク”。(首都大学東京との共同研究)

これによりノイズ環境下でも受付業務の自動化が実現可能となった。



C&RM株式会社
小林 武嗣 氏

<プロフィール>

1968年生まれ。東海大学文学部日本史学科卒業後、NECソフトに入社。大型汎用機を主体としたシティホテル向けPMSに携わる。

96年、NECソフト退社。現株式会社サイグナスを起業し、代表取締役に就任。2年ほど製造業を主体とした開発に従事するが、97年NECと共同でNEHOPS-EEの開発を請け負い、日本初のパソコンシステムによる大型シティホテルの成功事例を作る。その後、NEHOPS-EEの開発センターとして全国のシティホテルに導入。

2002年、マイクロ・フィデリオジャパンとの協業を開始し、日本初のCRMシステムをリリース。04年、NECソフト時代の元上司の丸山に代表取締役を譲り、副社長に就任。その後、一貫してホテル業に対するCRMの普及をめざし活動。

12年には、CRMとRMの融合の実現を念頭にC&RM株式会社を設立。

リレー講演には加盟店様にご登壇いただきます。

今回は、各加盟店様それぞれ異なるテーマを題材とし、IT活用術・清掃・改装について独自の取り組み、そして課題とその改善策について、実例を交えてご紹介いただきます。

ケース①



那須ミッドシティホテル(栃木県那須塩原市)
専務取締役 泉 洋平 様

『求められ続けるホテルをめざして
～創業6年目にして改装をする意味～』

- 早い時期から改装を始める理由は
- お客様より人気のあるホテルであり続けるには
- ノウハウがない中で何ができるか

ケース②



三沢シティホテル(青森県三沢市)
代表取締役 蛸名 佐知子 様

『清掃に思いを込めて
～共に成長できる企業を目指して～』

- 清掃の委託から直営化について
- 特別清掃の実施と清掃テーマを設けるようになったきっかけ
- 女性経営者ならではの取り組み

ケース③



株式会社ナスパ センターホテル成田1(千葉県成田市)
センターホテル成田2 R51(千葉県成田市)
ミートイン成田(千葉県成田市)

代表取締役 平山 秀樹 様

『独立系ホテルのIT活用術
～スマートフォンアプリを使ったキーレスエントリー～』

- 自社開発アプリによるキーレスエントリーについて
- AI・GPSを活用した交通情報提供サービスの導入
- 顔認証決済システム参画の予定について